

授業科目名・形態	介護の基本Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤 智美	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。

少子高齢化、家族機能の変化など介護問題の背景を明らかにし、介護福祉士を取り巻く状況を把握する。また、介護の意義と役割及び専門性について介護福祉士制度の制定経緯や関連法規（社会福祉士及び介護福祉士法等）を通して考えていく。

【到達目標】

- 1) 複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解する。
- 2) 介護福祉の専門性と倫理を理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を形成する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 介護福祉士の活動の場と役割①：地域包括ケアシステム・介護予防
- 第 2 回 介護福祉士の活動の場と役割②：医療的ケア・人生の最終段階の支援
- 第 3 回 介護福祉士の活動の場と役割③：災害時の支援
- 第 4 回 社会福祉士及び介護福祉士法
- 第 5 回 社会福祉士及び介護福祉士法に関連する諸規定
- 第 6 回 介護福祉士養成カリキュラム①：養成教育の始まり
- 第 7 回 介護福祉士養成カリキュラム②：期待される介護福祉士像
- 第 8 回 介護福祉士養成カリキュラム③：求められる介護福祉士像の見直し
- 第 9 回 介護福祉士を支える団体①：日本介護福祉士会
- 第 10 回 介護福祉士を支える団体②：日本介護福祉士養成施設協会
- 第 11 回 介護福祉士を支える団体③：日本介護福祉学会
- 第 12 回 介護実践における倫理①：職業倫理
- 第 13 回 介護実践における倫理②：プライバシーの保護と介護の倫理
- 第 14 回 倫理的判断が必要な場面における介護福祉士の対応
- 第 15 回 日本介護福祉士会倫理綱領

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ 中央法規出版（株）

【参考文献】

・春日キスヨ、介護問題の社会学、岩波書店

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

高齢者施設での利用者支援の経験を活かし、適切なケアを提供できるような実践的授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

介護福祉士の役割は何か考えてみてください。欠席をせず、予習や復習をして小テストで着実に点数を獲得してください。